

第53回日本薬剤師会学術大会 in 札幌 2020年10月10日～11日

薬局のかかりつけ機能と 健康サポート機能に関する 患者の意識調査

○廣田憲威^{1,2)}、末澤克己²⁾、城戸真由美^{2,3)}、吉岡優子^{2,3)}



JACP

Japanese Association for Community Pharmacy

- 1) 一般社団法人 大阪ファルマプラン
- 2) 一般社団法人 日本コミュニティーファーマシー協会
- 3) 有限会社 ネオフィスト研究所

第53回日本薬剤師会学術大会 利益相反の開示

筆頭演者名： 廣田 憲威

**私は今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反はありません。**

【目的】

「かかりつけ機能」と「健康サポート機能」を有する健康サポート薬局の届出が2016年10月より開始されるも、2019年12月末現在で1,797薬局（全薬局の約3.0%）、2020年6月末でも2,160薬局（同約3.6%）に留まっている。

健康サポート薬局と、それ以外の薬局を利用する患者の意識については未だ十分な検討が行われていない。

今回、日本コミュニティファーマシー協会（JACP）に加盟する薬局を主として、利用される患者を対象に、薬局の「かかりつけ機能」と「健康サポート機能」に関する意識調査を試みた。

【方法】

① 調査協力薬局の公募

2019年9月から10月にかけて、JACPのホームページならびに、各種研修会を通じて、調査協力薬局の募集を行った。

② 調査期間 2019年11月～12月

③ 調査数と方法

薬局の月間レセプト件数の約1%を調査対象数とした。当該薬局を初回利用の患者は対象外とし、調査に同意を得た患者のみアンケート用紙は配付した。回答は無記名で行い、郵送にて回収した。

④ 統計処理

2群間の独立性は「カイ二乗検定」で検定した。危険率5%未満($P < 0.05$)を有意差ありとした。

【方法】

⑤ ロジスティック回帰分析

「かかりつけ機能」の指標（目的変数）に「処方箋を1か所に集中させる」を、「健康サポート機能」に「薬局主催の勉強会への参加の意思」を設定した。

説明変数は以下の通りとした。

- ①健康サポート薬局を利用している患者（1:している、0:それ以外）
- ②年齢（1:60歳未満、0:60歳以上）
- ③性別（1:男性、0:女性）
- ④仕事（1:会社員＋自営業、0:それ以外）
- ⑤薬局の評価が高い（1:大変良い＋概ね良い、0:それ以外）
- ⑥複数の医療機関の処方箋を1か所の薬局に集中している
(1:はい、0:それ以外)
- ⑦処方箋が無くても薬局を利用したことがある（1:はい、0:それ以外）

説明変数(続き)

- ⑧「かかりつけ薬剤師」がいる(1:はい、0:それ以外)
- ⑨薬局が365日開局していることを良いと思っている(1:はい、0:それ以外)
- ⑩薬局が24時間開局していることを良いと思っている(1:はい、0:それ以外)
- ⑪「健康サポート薬局」について知っている(1:はい、0:それ以外)
- ⑫薬局で健康相談活動できることを良いと思っている(1:はい、0:それ以外)
- ⑬薬局で簡易検査などができることを良いと思っている
(1:はい、0:それ以外)
- ⑭薬剤師が地域に出て健康づくりの活動をすることを良いと思っている
(1:はい、0:それ以外)
- ⑮薬局主催のお薬や健康に関する勉強会に参加したい
(1:はい、0:それ以外)

⑥ 倫理審査

本研究は、JACP倫理審査委員会の事前承認を得て実施した(承認番号:201901)。

【同意書】

アンケート その3

【雛型です。適宜、追加修正記載してご使用願います】

薬局に求められる機能に関するアンケートへのご協力をお願い
患者様へ

平素より当薬局をご利用いただき、心から感謝申し上げます。

厚生労働省は、地域における薬局の役割をいっそう高める目的で、2016年10月より「健康サポート薬局」の制度を始めました。今日、日本には約59,000軒を超える薬局があるなかで、2019年6月末の健康サポート薬局数は全国で1,432薬局と、未だ全体の2%程度しかありません。

今回、薬局をご利用いただいている患者さまを対象に、薬局に求められる機能についてアンケート調査させて頂くことで薬局の活動の質をさらに高めていきたいと考えています。

匿名のアンケート調査でお名前は無記名です。

調査のご協力に対する同意・不同意に関わらず不利益はありません。

なお、本アンケートは、日本コミュニティファーマシー協会（JACP）共同研究のもと、先に武庫川女子大学研究倫理委員会で承認（2019年5月）を得られた内容であり、その実施に関して、JACP臨床・疫学研究倫理審査委員会の承認（2019年8月）を得て行っています。また、ご協力いただきましたアンケート結果は医学・薬学系の学会や専門雑誌で発表させて頂く予定です。

※調査についての同意・不同意に関し該当する個所に印を付けてください。

- 上記内容の調査に同意し、アンケートに進む。
- 同意しません。

2019年11月

調査研究責任者

法人名

薬局名

代表者名

住所：

電話：

調査研究代表

（一社）日本コミュニティファーマシー協会

代表理事 吉岡ゆうこ

本同意書はJACPオリジナル。
調査用紙は、廣田らが民医連
加盟の保険薬局を対象に実施
したものを活用した。

【調査用紙】

アンケート その3

薬局に求められる機能に関するアンケート【患者様用】

以下、該当する個所に印を付けてください。

(1)年齢・性別・お仕事などについてお伺いします。

①年齢 20~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳
 60~69歳 70~79歳 80歳以上

②性別 男性 女性

③お仕事 会社員 自営業 学生 専業主婦 無職 その他

(2)ご利用されている薬局についてお伺いします。

④薬局を利用しているの全体的な評価（接客・説明・待ち時間など）はいかがですか？
 大変よい 概ねよい どちらでもない 概ね悪い 大変悪い

⇒「大変よい」「概ねよい」とご回答いただいた方にお伺いします。

薬局の取り組みで評価される内容はどれですか？（複数回答可能）

薬剤師の説明 職員のマナー 薬局の環境 薬局の待ち時間
 健康相談活動 一般用医薬品（OTC）の品揃え 健康食品の品揃え

⇒「大変悪い」「概ね悪い」とご回答いただいた方にお伺いします。

薬局の取り組みで悪いとされる内容はどれですか？（複数回答可能）

薬剤師の説明 職員のマナー 薬局の環境 薬局の待ち時間
 健康相談活動 一般用医薬品（OTC）の品揃え 健康食品の品揃え

⑤複数の医療機関を受診された場合、全ての処方せんをこちらの薬局に持って来られますか？
 はい いいえ

⇒「いいえ」とご回答された方に、その理由をお尋ねします。

i) 利便性の点から、いつも受診した医療機関の近くの薬局を利用している
 はい いいえ

ii) その日の気分によって利用する薬局を変えている
 はい いいえ

⑥普段、処方せん調剤以外で、お薬や健康などの相談で薬局を利用されることはありますか？
 ある ない

(3)薬局の「かかりつけ機能」についてお伺いします。

⑦ご自身の「かかりつけ薬剤師」はおられますか？

いる いない わからない

⇒「いる」とご回答された方にお伺いします。

アンケート その3

「かかりつけ薬剤師」を実感できた経験は何ですか？（複数回答可能）

自分の飲んでいる薬（処方薬・一般薬）を全て把握してくれること
 薬について分かりやすく説明してくれること
 いろいろな医療機関からの処方箋を確認してもらえること
 薬局が閉まっている時、いつでも電話で相談できること
 自分の家に訪問して、お薬の管理や相談にのってくれること
 持っている薬がある場合は調整してくれること
 その他（自由記載）「 _____ 」

⇒「いない」とご回答された方にお伺いします。

今後、「かかりつけ薬剤師」を持ちたいと思われますか？

はい いいえ どちらとも言えない

⑧薬局が365日営業（開局）していると良いと思われますか？

はい いいえ どちらとも言えない

⑨薬局が24時間営業（開局）していると良いと思われますか？

はい いいえ どちらとも言えない

(4)薬局の「健康サポート機能」についてお伺いします。

⑩「健康サポート薬局」をお聞きになったことがありますか？

ある ない

⇒「ある」とご回答された方にお伺いします。

「健康サポート薬局」をどこで知られましたか？（複数回答可能）

いま利用している薬局が「健康サポート薬局」だから
 家人・知人から聞いた
 新聞・テレビの報道やインターネットで知った
 行政や薬剤師会からのお知らせや取り組みで知った

⑪薬局で健康相談ができることに対してどう思われますか？

良いことだと思う 良いとは思わない どちらとも言えない

⑫薬局で血糖値などの簡易検査などができることに対してどう思われますか？

良いことだと思う 良いとは思わない どちらとも言えない

⑬薬剤師が追加に出て、健康づくりの活動をすることについてどう思われますか？

良いことだと思う 良いとは思わない どちらとも言えない

⑭薬局主催のお薬や健康に関する勉強会があれば参加したいと思われますか？

参加したい 参加したくない どちらとも言えない

ご協力ありがとうございました。

【結果1】

① 回答患者数:165薬局より1,930人

※うち健康サポート薬局利用者は344人(17.8%)

② 性別

	全 体		健康サポート薬局		それ以外の薬局	
男性	675	35.0%	125	36.4%	550	34.7%
女性	1,233	63.9%	218	63.6%	1,015	64.0%
未回答	22	1.1%	0	0.0%	22	1.4%
合 計	1,930	100.0%	343	100.0%	1,587	100.0%

カイ二乗検定 P=0.0507

【結果2】

③ 年齢

	全 体		健康サポート薬局		それ以外の薬局	
20歳代	87	4.5%	12	3.5%	75	4.7%
30歳代	185	9.6%	30	8.7%	155	9.8%
40歳代	258	13.4%	44	12.8%	214	13.5%
50歳代	249	12.9%	45	13.1%	204	12.9%
60歳代	332	17.2%	47	13.7%	285	18.0%
70歳代	514	26.6%	103	30.0%	411	25.9%
80歳以上	287	14.9%	62	18.1%	225	14.2%
未回答	18	0.9%	0	0.0%	18	1.1%
合 計	1,930	100.0%	343	100.0%	1,587	100.0%

カイ二乗検定 P=0.0745

【結果3】

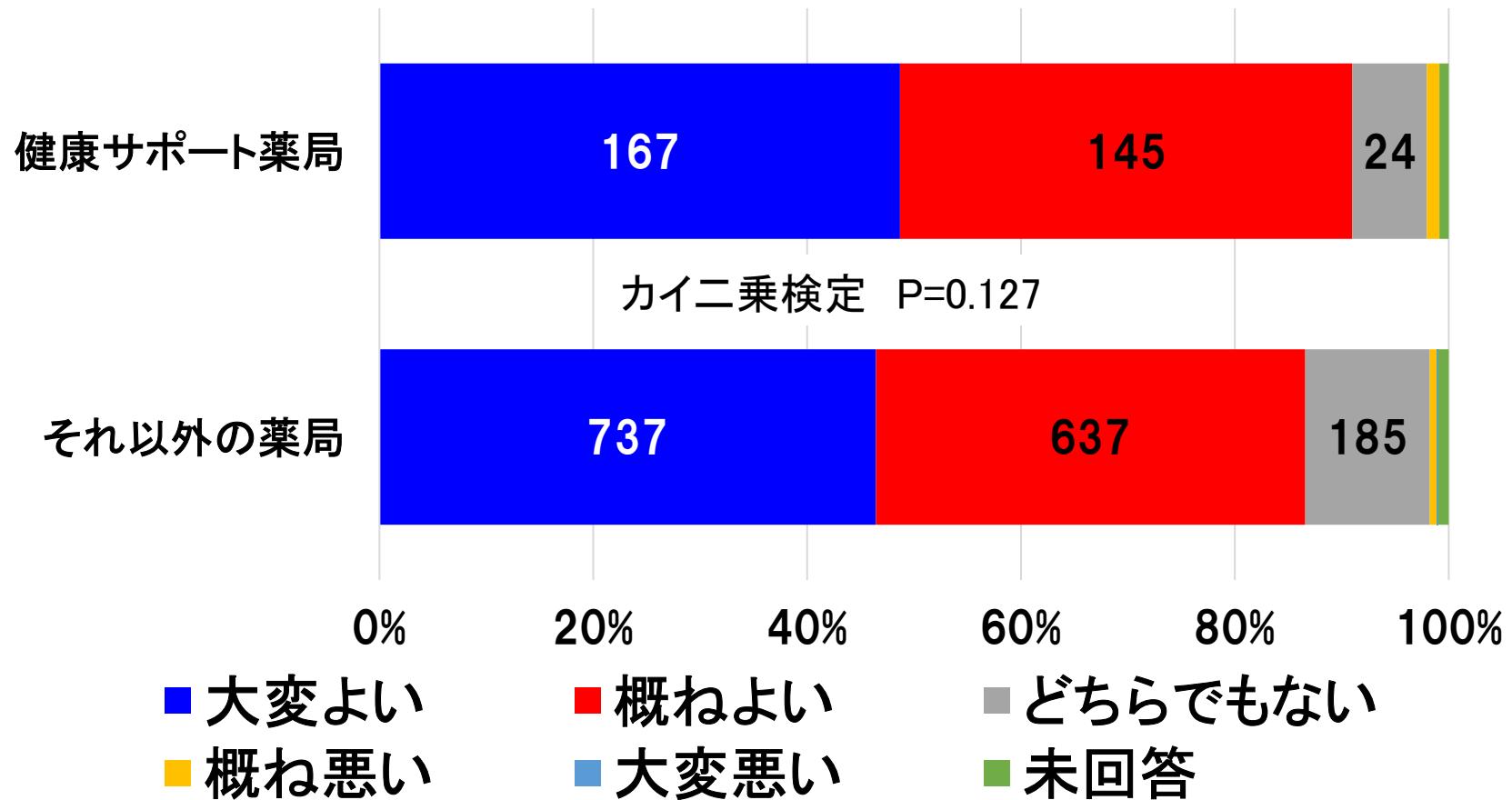
④ 仕事

	全 体		健康サポート薬局		それ以外の薬局	
会社員	524	27.2%	79	23.0%	445	28.0%
自営業	129	6.7%	21	6.1%	108	6.8%
学生	10	0.5%	1	0.3%	9	0.6%
専業主婦	433	22.4%	82	23.9%	351	22.1%
無職	539	27.9%	111	32.4%	428	27.0%
その他	265	13.7%	49	14.3%	216	13.6%
未回答	30	1.6%	0	0.0%	30	1.9%
合 計	1,930	100.0%	343	100.0%	1,587	100.0%

カイ二乗検定 P=0.0507

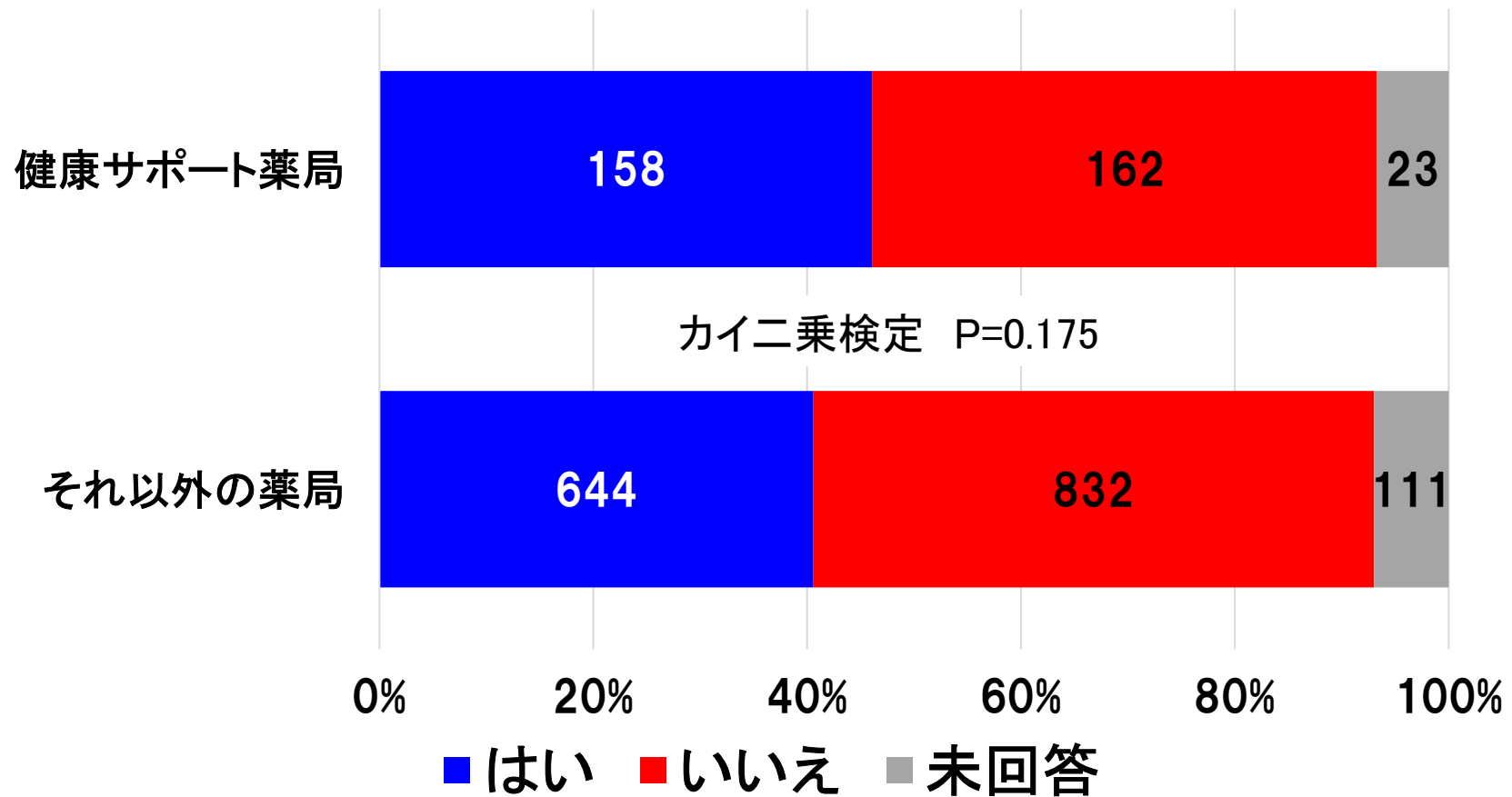
【結果4】

⑤ 薬局を利用しての全体的な評価(接遇・説明・待ち時間など)はいかがですか？



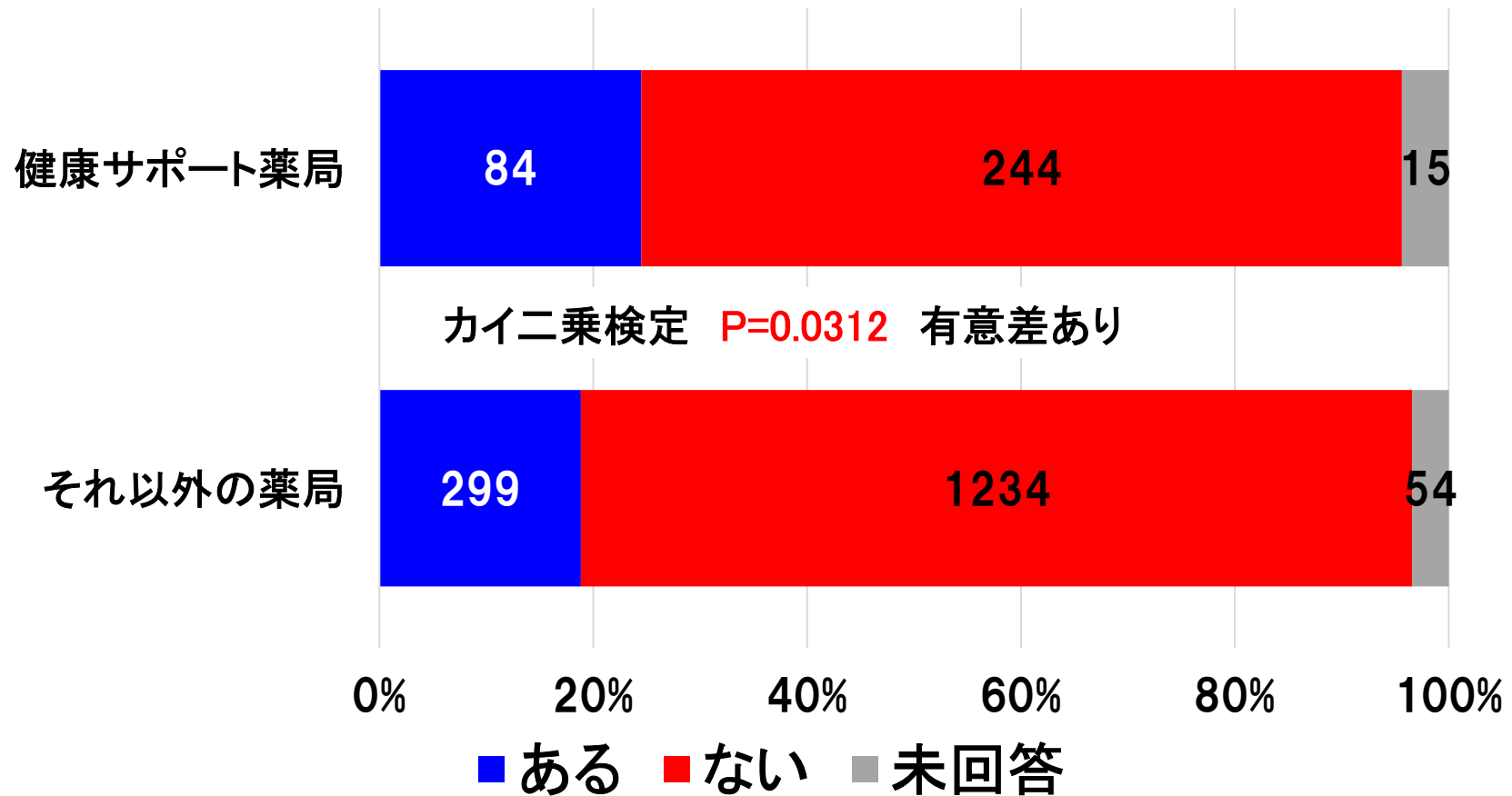
【結果5】

⑥ 複数の医療機関を受診された場合、全ての処方箋をこちらの薬局に持ってこられますか？



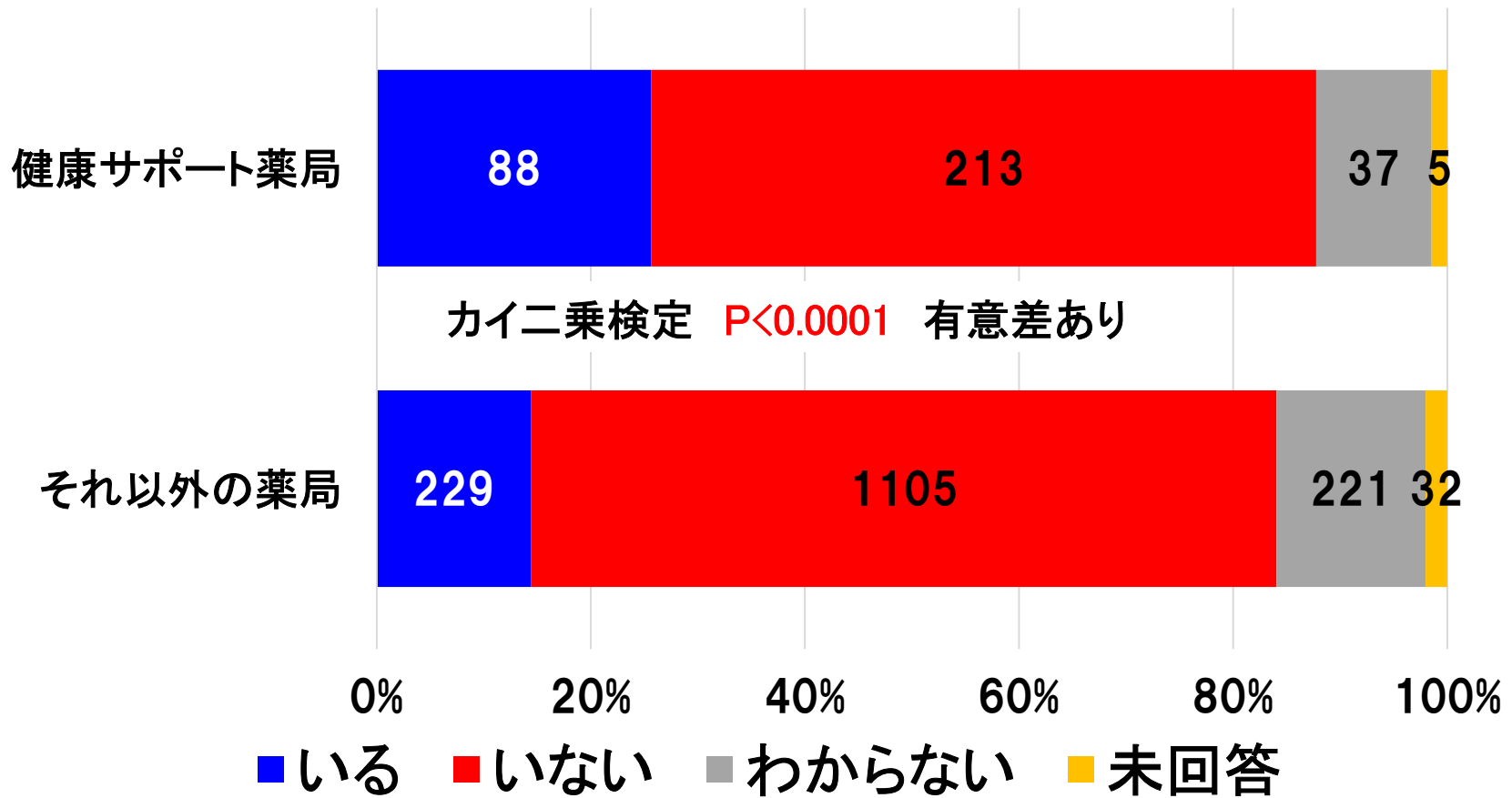
【結果6】

⑦ 普段、処方箋調剤以外で、お薬や健康などの相談で薬局を利用されることはありますか？



【結果7】

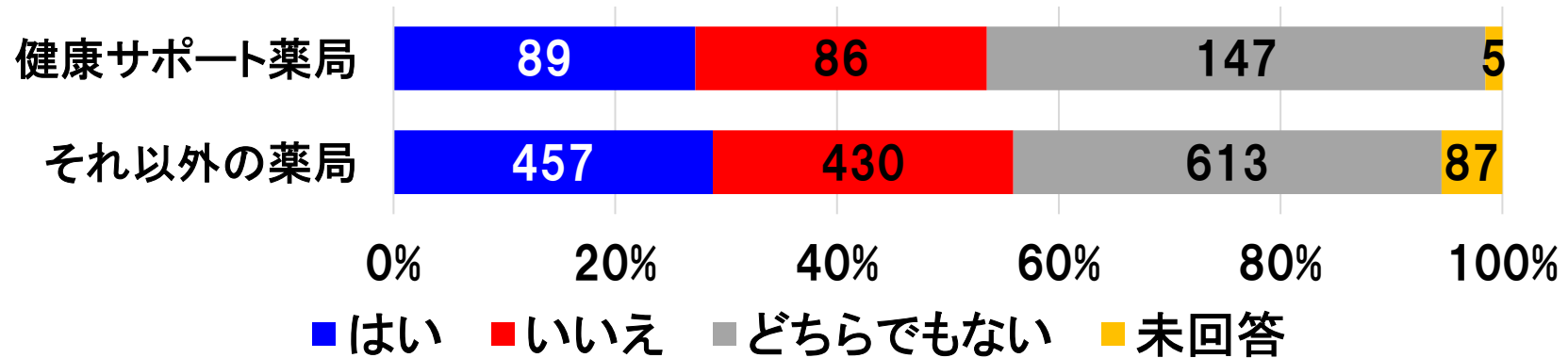
⑧ ご自身の「かかりつけ薬剤師」はおられますか？



【結果8】

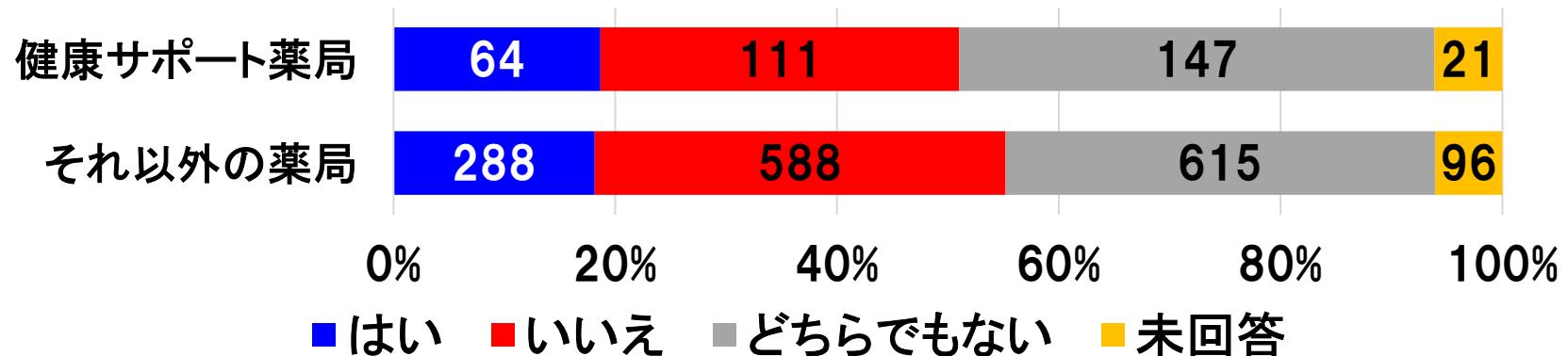
⑨ 薬局が365日営業(開局)していることについて、どう
思われますか？

カイ二乗検定 P=0.431



⑩ 薬局が24時間営業(開局)していることについて、どう
思われますか？

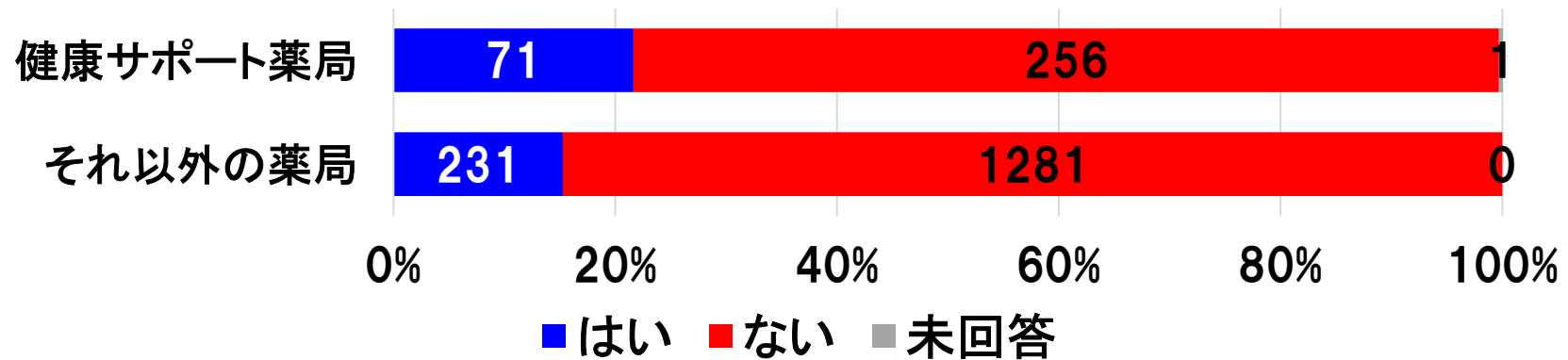
カイ二乗検定 P=0.392



【結果9】

⑪ 健康サポート薬局を聞いたことがありますか？
思われますか？

カイ二乗検定 P=0.00193 有意差あり



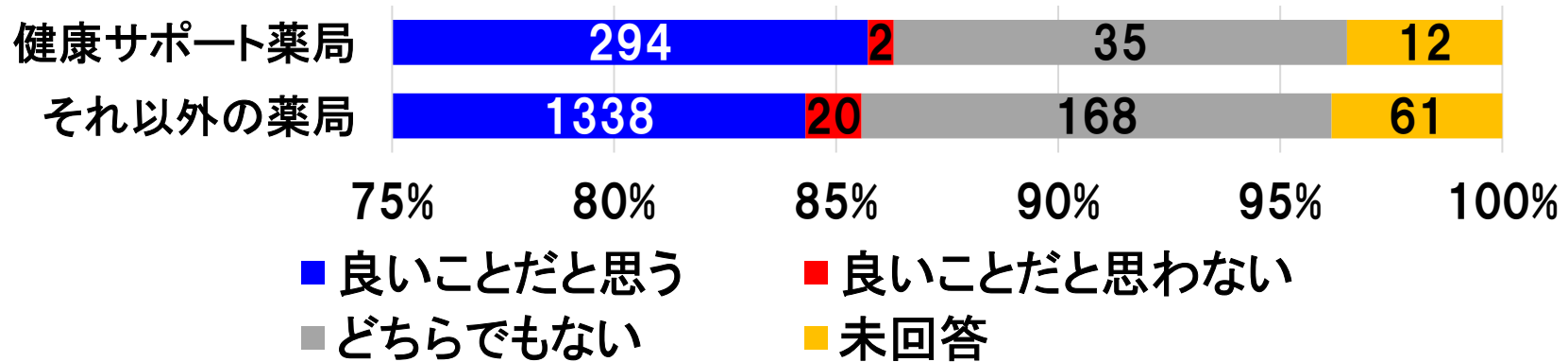
「ある」と回答された方に、どこで知りましたか？

(複数回答)

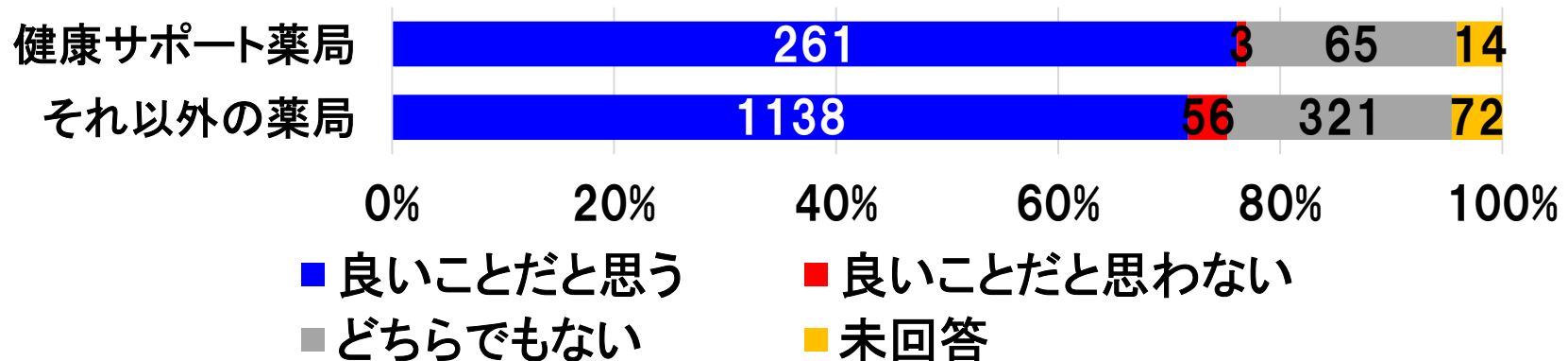
いま利用している薬局が健康サポート薬局だから	118
家人、知人から聞いた	43
新聞、テレビ報道、インターネットで知った	102
行政や薬剤師会からのお知らせや取組で知った	57

【結果10】

⑫ 薬局で健康相談ができることに対してどう思われますか？
カイ二乗検定 P=0.806

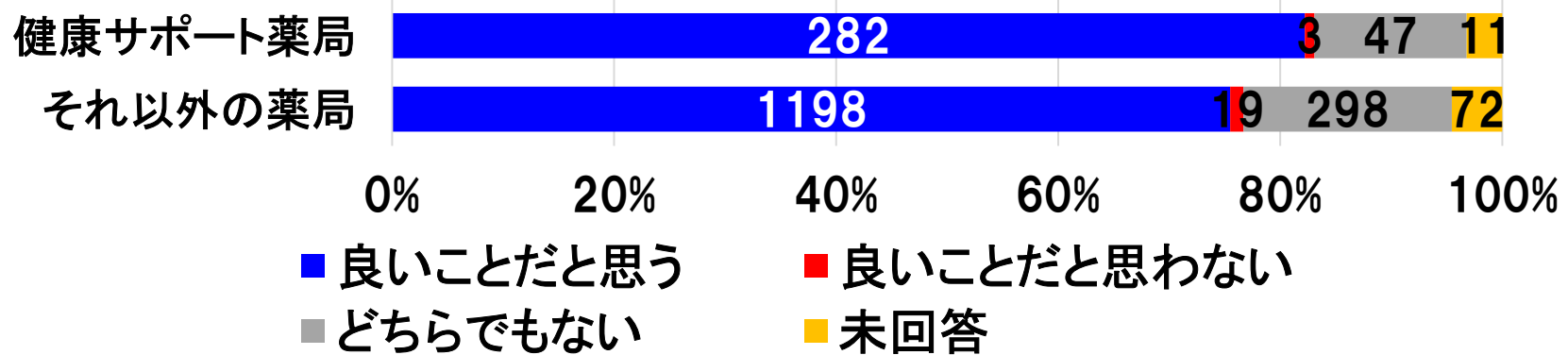


⑬ 薬局で血糖値など簡易検査ができることに対してどう思われますか？
カイ二乗検定 P=0.0349 有意差あり

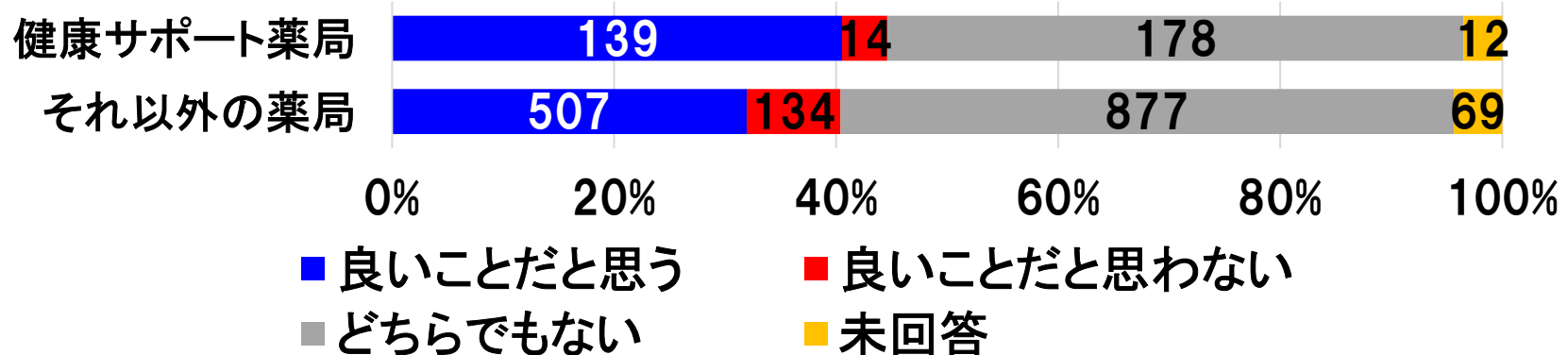


【結果11】

⑭ 薬剤師が地域に出て、健康づくりの活動をする
 ことについてどう思われますか？ カイ二乗検定 P=0.0703



⑮ 薬局主催のお薬や健康に関する勉強会があれば参加
 したいと思われますか？ カイ二乗検定 P=0.00212 有意差あり



【結果1～11の概要 ①】

- アンケートに協力いただいた患者数は1,930人で、そのうち344人(17.8%)が健康サポート薬局の利用者であった。
- 健康サポート薬局の利用者と、それ以外の薬局の利用者を比較したところ、「性別」「年齢構成」「仕事の種類」「薬局の評価」「処方箋を1か所に集中させる」で有意な差はなかった。
- 一方で、「普段から処方箋調剤以外で薬局を利用する」「かかりつけ薬剤師がいる」のは、健康サポート薬局の利用者の方が有意に高く、健康サポート薬局の有用性が示された。
- 薬局が365日、24時間営業することへの期待は、両群間で有意な差は認められなかった。
- 健康サポート薬局の認知度では、健康サポート薬局の利用者が有意に高かった。健康サポート薬局を知ったのは、現在利用している薬局が健康サポート薬局(118)、新聞・テレビ報道、インターネット(102)であった。

【結果1～11の概要 ②】

- 健康サポート機能として、「薬局で健康相談ができること」と「薬剤師が地域に出て健康づくりの活動を行うこと」に対しては、健康サポート薬局利用者が高い率を示したが、有意な差は認められなかった。
- 薬局で血糖値などの簡易検査をできることに対しては、健康サポート薬局利用者が、有意に高く評価していた。
- 薬局主催のお薬や健康に関する勉強会への参加の意向については、健康サポート薬局利用者が有意に評価していた。

健康サポート薬局を利用している患者の方が、「処方箋の一元管理」「かかりつけ薬剤師がいる」「処方箋以外での薬局利用」「健康サポート薬局の認知」「薬局主催の勉強会への参加の意向」が高いことが示され、健康サポート薬局の有用性が患者の意識にも十分に反映していることが明らかとなった。

【結果12】 ロジスティック回帰分析結果

		目的変数			
		⑦処方箋集中		⑭勉強会参加	
		オッズ比(95%CL)	P値	オッズ比(95%CL)	P値
説明変数	①健康サポート薬局の利用の有無	1.03(0.80-1.33)	0.800	1.28(0.98-1.67)	0.070
	②年齢	0.67 (0.53-0.85)	<0.001	0.68 (0.53-0.88)	0.003
	③性別	1.13(0.92-1.40)	0.241	0.68 (0.54-0.86)	0.001
	④仕事	0.84(0.62-1.08)	0.172	0.99(0.76-1.29)	0.935
	⑤薬局の評価	1.70 (1.24-2.34)	0.001	1.38(0.96-1.98)	0.083
	⑥複数の医療機関の処方箋を1か所に集中	×		1.71 (1.38-2.13)	<0.001
	⑦処方箋が無くても薬局の利用経験の有無	1.94 (1.52-2.49)	<0.001	1.61 (1.24-2.10)	<0.001
	⑧「かかりつけ薬剤師」の有無	1.75 (1.34-2.28)	<0.001	1.25(0.94-1.66)	0.127
	⑨薬局が365日営業していることへの是非	0.92(0.70-1.22)	0.571	1.39 (1.04-1.85)	0.026
	⑩薬局が24時間営業していることへの是非	0.99(0.71-1.37)	0.942	1.49 (1.07-2.08)	0.018
	⑪健康サポート薬局について知っている	1.52 (1.16-1.99)	0.003	1.94 (1.46-2.56)	<0.001
	⑫薬局での健康相談活動の是非	1.41 (1.02-1.95)	0.037	3.28 (2.02-5.32)	<0.001
	⑬薬局で簡易検査ができることへの是非	0.83(0.64-1.08)	0.165	1.85 (1.38-2.49)	<0.001
	⑭薬剤師が地域で活動することの是非	1.01(0.76-1.33)	0.967	2.46 (1.74-3.48)	<0.001
	⑮薬局主催の勉強会への参加の是非	1.73 (1.39-2.14)	<0.001	×	

【ロジスティック回帰分析の結果が示すこと 1】

- 「**かかりつけ機能**」(処方箋を1か所の薬局に集中させる)と統計学的に有意に相関する要因は、①60歳以上、②利用している薬局の評価が高い、③処方箋が無くても薬局を利用する、④かかりつけ薬剤師がいる、⑤健康サポート薬局を知っている、⑥薬局で健康相談することを評価している、⑦薬局主催の勉強会への参加の意思がある、であった。
- 「**健康サポート機能**」(薬局主催の勉強会への参加の意思がある)と統計学的に有意に相関する要因は、①60歳以上、②女性、③処方箋を1か所の薬局に集中させる、④処方箋が無くても薬局を利用する、⑤薬局の365日営業を希望する、⑥薬局の24時間営業を希望する、⑦健康サポート薬局を知っている、⑧薬局で健康相談することを評価している、⑨薬局で簡易検査できることを評価している、⑩薬剤師が地域に出て活動することを評価している、であった。

【ロジスティック回帰分析の結果が示すこと 2】

➤ 薬局の「かかりつけ機能」と「健康サポート機能」に双方に関連する因子として、

- ① 60歳以上
- ② 処方箋がなくても薬局を利用した経験がある
- ③ 健康サポート薬局について知っている
- ④ 薬局で健康相談活動を行うことを評価している

ことが、統計学的に明らかとなった。

【考察・まとめ】

患者が「かかりつけ機能」と「健康サポート機能」の両方を評価している背景には、「処方箋が無くても薬局を利用実績がある」「健康サポート薬局を知っている」「薬局での健康相談活動を評価している」ことが明らかとなった。現状では、地域の中で健康サポート薬局が少ないことから、行政や薬剤師会の努力で健康サポート薬局の認知度を上げていくことが求められる。

同時に、各々の薬局レベルでも患者が健康サポート薬局を実感できる多彩な取り組みをさらに展開していくことが求められている。

2021年8月から始まる「地域連携薬局」(薬機法)の認可と健康サポート薬局の基準適合は、これからのコミュニティファーマシーにとっては不可欠であると考えられる。 25